

新城市民病院での研修を終えて

名古屋第一赤十字病院

4週間お世話になりました。新城市民病院では毎日初診の患者さんの診察をさせていただき、またそれを上級医の先生方に毎日振り返っていただき、反省点や今後の課題を見いだせてとても勉強になりました。

研修中、印象的であったことは、ここでは患者さんの生活背景を考え治療方針を決めるということでした。私が普段在籍している名古屋第一赤十字病院は急性期病院で重症患者が多く運ばれてくるといふ事情もあり、入院の必要があるかどうかは病気の進行具合や検査の結果を見て主に決めます。患者さんの入院希望があっても自宅での療養が可能であればさせてあげられないこともあります。一方、新城市民病院では、本来ならば自宅での療養が可能な場合でも、一人暮らしで歩けないご高齢の方であれば生活を考慮し、入院を勧める場合もあります。つまり、病気だけではなく、患者さん自身を見つめる医療が行われているのだと感じました。一つ例を挙げると、発熱で受診された方がいました。検査の結果では、軽度でありましたが、お一人暮らしということで入院としました。入院後すぐに熱は下がり自宅での療養ができる状態になりましたが、この方には肺に腫瘍があり、今後も通院が必要でした。よくよく聞くと車の運転をしないと通院できないという状況でした。私たち医師から見てご高齢ということもあり、車の運転は危険であると考えました。そのため、地域連携の方に力を貸していただき、ケアマネージャーさんに調整していただき、自宅へ帰っても危険な目に合わずに通院できるように、生活していけるように介護サービスなどを利用し生活環境を整えることにしました。私は今まで病気を治すことに必死で退院後の患者さんの生活をあまり考えていませんでした。退院したらどのように今後通院するのかなど考えたことはありませんでした。今回の研修を通じて、医学知識ももちろん勉強させて頂きましたが、それ以上に患者さんの生活背景を考えること、またそれを達成するために医師だけではなく、看護師さんや理学療法士・作業療法士さん、技師さん、地域医療連携の方々多くの方々が話しあい協力しているということを学びました。本当に素敵な病院だと思います。この気持ちを忘れずに名古屋に持って帰ろうと思います。また今後活かしていこうと思います。

総合診療科の医師をはじめスタッフの皆さま、そして診察させて頂いた患者さんには感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。